

子どもが、安心してインターネットを利用するためにできること

インターネットは、世界中の様々な情報を調べたり学校教育でも利用されるなど、今や欠かせない存在である反面、思いもよらないトラブルに巻き込まれることがあります。



インターネット利用による主なトラブル

- ・ 無料と思っていたオンラインゲームを利用したら、高額な請求がきた。
- ・ 冗談のつもりで友だちの悪口をSNSに書き込みしたら、クラスみんなに広まってしまった。
- ・ 面識のない人と無料通話アプリでメッセージのやり取りをして親しくなったら、個人情報や写真を送るよう、執拗に要求されるようになった。

など

子どもがトラブルにあわないために、保護者ができるポイントが3つあります。

① 「フィルタリング」と「ウイルス対策」でセキュリティ対策を行いましょう。

架空請求などを目的とするサイトや、犯罪やトラブルを誘発する危険なサイトにアクセスしないように「フィルタリング」を利用しましょう。パスワードは保護者が確実に管理するようにします。

また、ウイルスなどの不正なプログラムのブロックには「ウイルス対策」を行いましょう。

② 子どもの成長に合わせてインターネットを利用させましょう。

子どもと一緒にインターネットを使いながら、適切に利用するための知識や技術・情報モラル・コミュニケーション能力を身につけさせましょう。

子どもの成長に応じて、持たせる機器やフィルタリングの設定などを見直して、インターネットの利用範囲やサービスを広げていきましょう。

③ 家庭のルールを親子で一緒に作りましょう。

なぜルールが必要かを子どもが理解することが大切です。家庭の利用状況に合わせて、子どもが守りやすい具体的なルールを一緒に考えましょう。

- ・ オンラインゲームなどでお金がかかる場合は、事前に保護者に相談する。クレジットカードの情報は保護者が管理する。
- ・ インターネットの利用履歴や、子どもが使おうとしているサービスを、子どもと一緒に確認する。
- ・ 利用する時間帯や場所を決める。
- ・ 個人情報や他人を誹謗中傷する書き込みはしない。
- ・ 知らない人とメールのやり取りはしない。 など

※インターネットは様々な人が利用する「公共の場所」です。実生活でやってはいけないことは、インターネット上でもやってはいけません。一度公開した情報はインターネットに残り、広がる可能性があります。